



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月12日

上場会社名 セントラル硝子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4044 URL
<http://www.cgco.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 清水 正
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 経営管理室長 (氏名) 宮内 徹 TEL 03-3259-7062
 定時株主総会開催予定日 2020年6月26日 配当支払開始予定日 2020年6月5日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	222,469	△3.2	7,975	△21.3	8,565	△23.3	6,418	△15.3
2019年3月期	229,901	—	10,135	—	11,169	—	7,577	—

(注) 包括利益 2020年3月期 △274百万円 (—%) 2019年3月期 △4,336百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	158.59	—	3.9	2.8	3.6
2019年3月期	187.23	—	4.5	3.6	4.4

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 501百万円 2019年3月期 261百万円

(注) 2019年3月期は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載しております。

2019年3月期の対前期増減率は、会計方針の変更に伴い遡及適用を行ったため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	296,427	164,339	54.3	3,978.44
2019年3月期	307,103	168,931	53.8	4,083.74

(参考) 自己資本 2020年3月期 161,006百万円 2019年3月期 165,272百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	17,226	△7,856	△5,295	25,008
2019年3月期	12,650	△14,336	291	21,023

(注) 2019年3月期は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	25.00	—	50.00	75.00	3,037	40.1	1.8
2020年3月期	—	37.50	—	37.50	75.00	3,037	47.3	1.9
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2021年3月期の配当につきましては、現時点では未定としております。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、現段階で合理的に業績を算出することが困難なため、未定としております。今後、業績予想の算出が可能となった時点で、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：有
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 14「4. 連結財務諸表及び主な注記(5) 連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2020年3月期	42,975,995株	2019年3月期	42,975,995株
2020年3月期	2,506,153株	2019年3月期	2,505,071株
2020年3月期	40,470,535株	2019年3月期	40,471,895株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	94,510	△2.7	4,237	△35.9	7,212	△25.6	5,104	△25.3
2019年3月期	97,151	3.8	6,608	2.4	9,697	16.2	6,830	△13.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	126.04	—
2019年3月期	168.63	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年3月期	259,986		149,530		57.5		3,691.97	
2019年3月期	264,035		154,036		58.3		3,803.12	

(参考) 自己資本 2020年3月期 149,530百万円 2019年3月期 154,036百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、現段階で合理的に業績を算出することが困難なため、未定としております。今後、業績予想の算出が可能となった時点で、速やかに公表いたします。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 企業集団の状況	4
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
4. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(会計方針の変更)	14
(セグメント情報)	14
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
5. その他	17
役員の異動	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

① 当期の経営成績

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用環境や所得の改善が続いておりましたが、第4四半期に入り、新型コロナウイルス感染症の影響により、景気は急速に悪化しており、厳しい状況となっております。

世界経済は、米中貿易摩擦の長期化による貿易取引の停滞、さらには新型コロナウイルス感染症による影響が日に日に拡大を見せており、先行きは非常に不透明な状況が続いております。

このような経済環境の下、当社グループは積極的な販売活動を展開いたしましたが、当期の売上高は222,469百万円と前期比3.2%の減少となりました。

損益面につきましては、経営全般にわたる業務の効率化・合理化施策を推進してまいりましたが、経常利益は前期比2,604百万円減少の8,565百万円となり、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比1,159百万円減少の6,418百万円となりました。

なお、当連結会計年度より、在外子会社等の収益及び費用は、決算日の直物為替相場により円貨に換算する方法から、期中平均為替相場により円貨に換算する方法に変更したため、遡及適用後の数値で前期比較を行っております。(会計方針変更の詳細は14ページ「4. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。)

また、当連結会計年度より、当社グループの管理上の区分変更に伴い、従前「化成品事業」に含めておりましたガラス繊維を「ガラス事業」に変更したため、遡及適用後の数値で前期比較を行っております。(セグメント区分変更の詳細は14ページ「4. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報)」をご覧ください。)

② セグメント別の概況

(ガラス事業)

建築用ガラスにつきましては、首都圏を中心とした物件については依然として堅調でしたが、その他の地域では低調に推移したため、売上高は前期並となりました。

自動車用ガラスにつきましては、国内は新車販売の鈍化の影響を受けたものの、一部製品の売上を建築用ガラスから自動車用ガラスに区分変更した影響により前期を上回りましたが、海外が欧州、米国の自動車販売台数減少の影響を受けたため、売上高は前期を下回りました。

ガラス繊維につきましては、電材、住宅設備分野を中心に出荷が堅調に推移し、売上高は前期を上回りました。

以上、ガラス事業の売上高は144,236百万円(前期比4.3%減)となり、損益につきましては24百万円の営業利益(前期比462百万円の減少)となりました。

(化成品事業)

化学品につきましては、ハイドロフルオロオレフィン製品の出荷量が伸びたことから、売上高は前期を上回りました。

ファインケミカルにつきましては、半導体用途の特殊ガス関連製品は三フッ化窒素事業の撤退により出荷が減少し、また医薬品関連製品の販売が低調に推移したため、売上高は前期を下回りました。

肥料につきましては、省力肥料の出荷が堅調に推移しましたが、一部製品の需要が減少したことにより、売上高は前期を下回りました。

以上、化成品事業の売上高は78,232百万円(前期比1.2%減)となり、損益につきましては7,951百万円の営業利益(前期比1,696百万円の減少)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は前連結会計年度末に比べ、現金及び預金が4,523百万円増加する一方、投資有価証券の売却代金の回収などによりその他流動資産が5,468百万円、上場株式の売却や株価の下落などにより投資有価証券が8,318百万円減少したことなどにより、10,676百万円減少し296,427百万円となりました。

負債はコマーシャル・ペーパーの発行などによりその他流動負債が10,765百万円増加する一方、税金の支払等により未払法人税等が3,068百万円、借入金12,241百万円減少したことなどにより、6,083百万円減少し132,088百万円となりました。

純資産は親会社株主に帰属する当期純利益などにより利益剰余金が2,944百万円増加する一方、上場株式の売却や株価の下落などによりその他有価証券評価差額金が5,710百万円減少したことなどにより、4,592百万円減少し164,339百万円となりました。また、自己資本比率は0.5ポイント増加し54.3%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は前連結会計年度末に比べ、3,942百万円増加し、25,008百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金収支は、税金等調整前当期純利益8,976百万円、減価償却費12,930百万円などにより、17,226百万円の収入(前期は12,650百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金収支は、電解液製造設備の拡充等に伴う有形固定資産の取得による支出13,354百万円、投資有価証券の売却及び償還による収入6,343百万円などにより、7,856百万円の支出(前期は14,336百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金収支は、配当の支払による支出3,541百万円、借入金等の返済による支出1,033百万円などにより、5,295百万円の支出(前期は291百万円の収入)となりました。

なお、当社グループの主要財政関連指標の推移は以下のとおりであります。

	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期
自己資本比率 (%)	56.6	54.1	54.4	53.8	54.3
時価ベースの自己資本比率 (%)	45.4	30.9	31.7	32.0	25.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	2.3	4.2	4.3	5.8	4.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	56.9	45.3	23.4	19.9	28.9

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算定しております。

(注3) 営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち借入金及び社債等を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(注4) 2019年3月期は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載しております。

(4) 今後の見通し

当社グループを取り巻く事業環境は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大を受けて、各国政府が発出する非常事態宣言や各種規制等による経済活動の停滞により急激に悪化しており、当社グループの業績に大きく影響を及ぼすことが予想されます。

各国の自動車メーカーの生産調整による国内外の自動車ガラス事業及び、国内ガラス繊維事業への影響、また、建設工事の一時停止による国内建築ガラス事業への影響を想定しております。しかしながら、収束の時期が不透明で、不確定な要因が多いことから、2021年3月期の連結業績予想につきましては、現段階では合理的に算出する事が困難と判断し未定としております。今後、業績予想の算出が可能となった時点で、速やかに公表いたします。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社の利益配分にあたりましては、企業体質の強化を図るため、研究開発や設備投資など将来の事業展開のための内部留保の充実を考慮しつつ、長期的視点に立って業績に見合った安定的な配当を行うことを基本方針といたしております。

株主への利益還元につきましては、中期計画(2018~2020年)の期間中においては、最終年度の経営目標でありますROE6%をベースにDOEの目標を1.8%とし、株主総還元性向30%以上の目標と併せて利益の還元を努めて参ります。

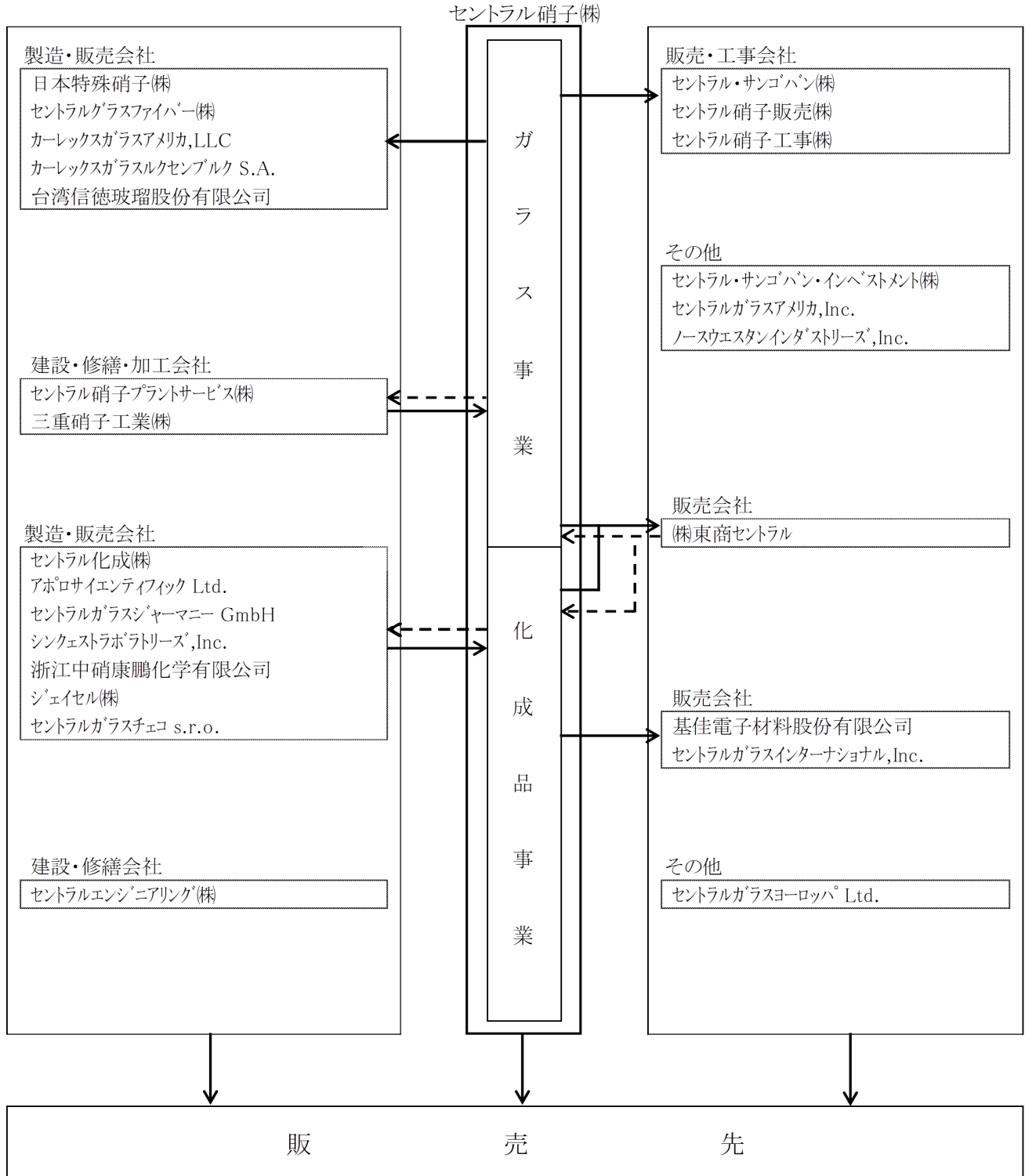
これにより、当期の期末配当金は、1株につき37.5円とさせていただきます、年間の配当金は、中間配当金37.5円と合わせて1株当たり75円を予定しております。

また、次期(2021年3月期)の配当につきましては、現段階では合理的な業績予想の算出が困難なことから未定としております。

2. 企業集団の状況

当社企業集団は、当社及び子会社37社、関連会社18社（2020年3月31日現在）により構成されており、その主な事業内容は「ガラス事業」及び「化成事業」であります。

事業系統図を示すと次の通りであります。



——→ 製品の流れ
 - - - → 原料・半製品の流れ

3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、引き続き日本基準を適用することとしております。

なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,732	26,256
受取手形及び売掛金	53,245	50,933
商品及び製品	27,544	29,687
仕掛品	4,745	4,605
原材料及び貯蔵品	18,433	18,440
その他	10,909	5,441
貸倒引当金	△674	△717
流動資産合計	135,937	134,646
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	106,235	106,929
減価償却累計額	△75,956	△76,942
建物及び構築物(純額)	30,279	29,987
機械装置及び運搬具	248,174	243,036
減価償却累計額	△197,046	△191,981
機械装置及び運搬具(純額)	51,127	51,054
土地	25,732	25,629
建設仮勘定	8,256	5,452
その他	28,271	29,798
減価償却累計額	△24,566	△25,103
その他(純額)	3,705	4,694
有形固定資産合計	119,101	116,818
無形固定資産		
のれん	55	—
その他	1,691	1,619
無形固定資産合計	1,746	1,619
投資その他の資産		
投資有価証券	42,549	34,231
長期貸付金	114	108
退職給付に係る資産	2,873	2,739
繰延税金資産	2,319	4,306
その他	2,714	2,086
貸倒引当金	△253	△130
投資その他の資産合計	50,317	43,342
固定資産合計	171,165	161,780
資産合計	307,103	296,427

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,251	20,779
短期借入金	19,638	14,399
未払費用	9,471	9,480
未払法人税等	3,459	391
賞与引当金	1,473	1,424
損害賠償引当金	8	—
その他	11,331	22,096
流動負債合計	67,634	68,572
固定負債		
社債	30,400	30,400
長期借入金	23,312	16,310
繰延税金負債	195	325
役員退職慰労引当金	12	3
特別修繕引当金	6,107	6,668
事業構造改善引当金	2,584	1,846
環境対策引当金	19	22
顧客補償等対応費用引当金	5	5
退職給付に係る負債	7,661	5,881
その他	237	2,052
固定負債合計	70,536	63,515
負債合計	138,171	132,088
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,168	18,168
資本剰余金	8,109	8,109
利益剰余金	129,474	132,418
自己株式	△6,395	△6,398
株主資本合計	149,356	152,297
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,211	10,501
繰延ヘッジ損益	136	△407
為替換算調整勘定	△753	△1,735
退職給付に係る調整累計額	321	350
その他の包括利益累計額合計	15,916	8,708
非支配株主持分	3,659	3,332
純資産合計	168,931	164,339
負債純資産合計	307,103	296,427

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	229,901	222,469
売上原価	181,433	176,307
売上総利益	48,468	46,162
販売費及び一般管理費	38,332	38,186
営業利益	10,135	7,975
営業外収益		
受取利息	103	112
受取配当金	1,419	924
持分法による投資利益	261	501
為替差益	146	—
受取賃貸料	557	553
貯蔵品売却益	436	366
その他	907	1,040
営業外収益合計	3,834	3,499
営業外費用		
支払利息	645	581
為替差損	—	251
休止固定資産費用	313	473
固定資産廃棄損	909	717
たな卸資産廃棄損	466	445
貸倒引当金繰入額	20	32
その他	444	407
営業外費用合計	2,799	2,909
経常利益	11,169	8,565
特別利益		
固定資産売却益	732	—
投資有価証券売却益	8,338	1,293
関係会社清算益	2	—
特別利益合計	9,073	1,293
特別損失		
固定資産売却損	7	5
減損損失	9,096	150
投資有価証券売却損	—	7
投資有価証券評価損	—	117
事業構造改善費用	—	602
退職給付制度改定損	90	—
特別損失合計	9,194	883
税金等調整前当期純利益	11,049	8,976
法人税、住民税及び事業税	4,868	1,138
法人税等調整額	△2,077	867
法人税等合計	2,791	2,005
当期純利益	8,258	6,970
非支配株主に帰属する当期純利益	680	551
親会社株主に帰属する当期純利益	7,577	6,418

(連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	8,258	6,970
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,067	△5,700
繰延ヘッジ損益	99	△543
為替換算調整勘定	△1,476	△906
退職給付に係る調整額	56	28
持分法適用会社に対する持分相当額	△206	△123
その他の包括利益合計	△12,594	△7,244
包括利益	△4,336	△274
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△4,874	△751
非支配株主に係る包括利益	538	476

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	18,168	8,109	124,255	△6,392	144,141
会計方針の変更による 累積的影響額			△98		△98
会計方針の変更を反映し た当期首残高	18,168	8,109	124,157	△6,392	144,043
当期変動額					
剰余金の配当			△2,023		△2,023
親会社株主に帰属する 当期純利益			7,577		7,577
連結範囲の変動			△236		△236
自己株式の取得				△4	△4
自己株式の処分				0	0
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動		0			0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	0	5,316	△3	5,313
当期末残高	18,168	8,109	129,474	△6,395	149,356

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証 券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整 勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額 合計		
当期首残高	27,282	37	489	263	28,072	3,414	175,628
会計方針の変更による 累積的影響額			98		98		—
会計方針の変更を反映し た当期首残高	27,282	37	587	263	28,170	3,414	175,628
当期変動額							
剰余金の配当							△2,023
親会社株主に帰属する 当期純利益							7,577
連結範囲の変動							△236
自己株式の取得							△4
自己株式の処分							0
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動							0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△11,070	99	△1,341	58	△12,254	244	△12,009
当期変動額合計	△11,070	99	△1,341	58	△12,254	244	△6,696
当期末残高	16,211	136	△753	321	15,916	3,659	168,931

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	18,168	8,109	129,474	△6,395	149,356
会計方針の変更による 累積的影響額					—
会計方針の変更を反映し た当期首残高	18,168	8,109	129,474	△6,395	149,356
当期変動額					
剰余金の配当			△3,541		△3,541
親会社株主に帰属する 当期純利益			6,418		6,418
連結範囲の変動			67		67
自己株式の取得				△3	△3
自己株式の処分			△0	0	0
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動					—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	2,944	△2	2,941
当期末残高	18,168	8,109	132,418	△6,398	152,297

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証 券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整 勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額 合計		
当期首残高	16,211	136	△753	321	15,916	3,659	168,931
会計方針の変更による 累積的影響額					—		—
会計方針の変更を反映し た当期首残高	16,211	136	△753	321	15,916	3,659	168,931
当期変動額							
剰余金の配当							△3,541
親会社株主に帰属する 当期純利益							6,418
連結範囲の変動							67
自己株式の取得							△3
自己株式の処分							0
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動							—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△5,710	△543	△981	28	△7,207	△326	△7,534
当期変動額合計	△5,710	△543	△981	28	△7,207	△326	△4,592
当期末残高	10,501	△407	△1,735	350	8,708	3,332	164,339

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	11,049	8,976
減価償却費	12,596	12,930
減損損失	9,096	150
のれん償却額	8	6
引当金の増減額 (△は減少)	△122	△328
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	46	△1,733
事業構造改善費用	—	446
受取利息及び受取配当金	△1,523	△1,037
支払利息	645	581
持分法による投資損益 (△は益)	△261	△501
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	117
投資有価証券売却損益 (△は益)	△8,338	△1,286
関係会社清算損益 (△は益)	△2	—
固定資産売却損益 (△は益)	△749	△162
固定資産廃棄損	909	717
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,390	2,277
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,923	△2,635
仕入債務の増減額 (△は減少)	50	△1,414
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△1,535	1,839
未払費用の増減額 (△は減少)	236	△39
その他	503	2,270
小計	15,296	21,174
利息及び配当金の受取額	1,545	1,055
利息の支払額	△636	△596
法人税等の支払額	△3,554	△4,406
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,650	17,226
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△909	△1,214
定期預金の払戻による収入	926	667
有形固定資産の取得による支出	△20,288	△13,354
有形固定資産の売却による収入	1,084	239
投資有価証券の取得による支出	△1,296	△987
投資有価証券の売却及び償還による収入	7,546	6,343
関係会社の整理による収入	3	—
事業譲渡による収入	—	1,080
事業譲受による支出	△217	—
その他	△1,186	△632
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,336	△7,856

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△5,264	△4,890
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	—	11,000
長期借入れによる収入	14,000	—
長期借入金の返済による支出	△6,113	△7,142
自己株式の取得による支出	△4	△3
配当金の支払額	△2,023	△3,541
非支配株主への配当金の支払額	△345	△549
非支配株主からの払込みによる収入	52	—
その他	△10	△167
財務活動によるキャッシュ・フロー	291	△5,295
現金及び現金同等物に係る換算差額	97	△132
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,297	3,942
現金及び現金同等物の期首残高	21,925	21,023
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	395	—
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	42
現金及び現金同等物の期末残高	21,023	25,008

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(在外子会社等の収益及び費用の本邦通貨への換算方法の変更)

在外子会社等の収益及び費用は、従前、決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、当連結会計年度より期中平均為替相場により円貨に換算する方法に変更しております。この変更は、在外子会社等の重要性が増してきたため、一時的な為替相場の変動による損益等への影響を緩和し、在外子会社等の業績をより適切に連結財務諸表に反映させるために行ったものであります。

当該会計方針の変更を遡及適用し、前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用前と比べ、前連結会計年度の売上高は609百万円、営業利益は36百万円、経常利益は49百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は31百万円それぞれ増加しております。

また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は98百万円減少し、為替換算調整勘定の前期首残高は同額増加しております。

なお、1株当たり情報に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、本社に製品別・サービス別の事業部門を置き、取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。従って、当社グループはそれぞれの事業部門を基礎とした「ガラス事業」と「化成品事業」の2つを報告セグメントとしております。

「ガラス事業」は主に、建築用ガラス、自動車用ガラス、ガラス繊維を製造販売しております。

「化成品事業」は主に、化学品、ファインケミカル、肥料を製造販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	連結 財務諸表 計上額
	ガラス事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	150,737	79,163	229,901	—	229,901
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18	1,242	1,260	△1,260	—
計	150,756	80,406	231,162	△1,260	229,901
セグメント利益	487	9,648	10,135	—	10,135
セグメント資産	164,448	143,071	307,519	△416	307,103
その他の項目					
減価償却費	6,756	5,840	12,596	—	12,596
のれんの償却額	8	—	8	—	8
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	10,802	9,396	20,198	—	20,198

(注) セグメント利益の調整額及びセグメント資産の調整額は、セグメント間取引消去であります。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	連結 財務諸表 計上額
	ガラス事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	144,236	78,232	222,469	—	222,469
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12	1,172	1,184	△1,184	—
計	144,248	79,405	223,653	△1,184	222,469
セグメント利益	24	7,951	7,975	—	7,975
セグメント資産	152,543	144,209	296,753	△325	296,427
その他の項目					
減価償却費	6,524	6,405	12,930	—	12,930
のれんの償却額	6	—	6	—	6
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	4,821	7,113	11,935	—	11,935

(注) セグメント利益の調整額及びセグメント資産の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(1) 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は2019年4月23日開催の取締役会において、当社グループの管理上の区分変更を決議いたしました。これに伴い、従前「化成品事業」に含めておりましたガラス繊維を、当連結会計年度より「ガラス事業」に含めることに変更しております。

また、「会計方針の変更」に記載のとおり、当連結会計年度より在外子会社等の収益及び費用の本邦通貨への換算方法について会計方針の変更を行っております。この変更に伴い、前連結会計年度については、遡及適用後の数値で記載しております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前連結会計年度の外部顧客への売上高がガラス事業で8,047百万円増加し、化成品事業で7,438百万円減少しております。また、セグメント利益がガラス事業で683百万円増加し、化成品事業で646百万円減少しております。

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	ガラス事業	化成品事業	合計
減損損失	8,964	132	9,096

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	ガラス事業	化成品事業	合計
減損損失	55	146	202

(注) 上記の減損損失の一部は「事業構造改善費用」に含めて表示しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	4,083円74銭	3,978円44銭
1株当たり当期純利益	187円23銭	158円59銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 「会計方針の変更」に記載のとおり、在外子会社の収益及び費用は、従来、決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、当連結会計年度より期中平均為替相場による方法に変更しております。当該会計方針の変更を遡及適用し、前連結会計年度については遡及適用後の1株当たり当期純利益となっております。

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	7,577	6,418
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	7,577	6,418
期中平均株式数(千株)	40,471	40,470

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. その他

役員の異動

本日公表いたしました「役員の異動に関するお知らせ」をご参照ください。